



# デンマークの 食と暮らし研究会

## NEWS LETTER MAY 2023

発行：NPO法人デンマークの食と暮らし研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館12F  
Tel 03-3213-4801 Fax 03-3213-5406 ホームページ : <http://www.danishforum.jp/> メール：[info@danishforum.jp](mailto:info@danishforum.jp)

### 【SDGs:デンマークでの取り組み】

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)は、2015年国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。17のゴール(国際目標)が定義され、毎年、世界SDGs達成度ランキング(17の目標をそれぞれスコアリングしたランキング)が発表されます。最新のランキング発表は2022年6月で、デンマークはフィンランドに続き2位にランキングされました。多少の前後はありますが、例年トップ3以内を保持しています。SDGsへの取り組みは、各国各域様々な産業分野で多様なものがありますが、今回は、デンマークで行われているSDGsの取り組みの中から二つの例をご紹介します。

#### 「UN 17 Village」建築プロジェクト

元来廃棄されていたコンクリート、木材、ガラスなどのアップサイクル資源を再利用し、広さ約35,000平方メートル(東京ドーム約1つ分)のエコビレッジを造るプロジェクトです。アップサイクルとは、創造的再利用とも言われ、本来、利用価値がないとされる廃棄対象物をより良い品質と環境価値の新たな材料または製品にアップグレードするプロセス。リサイクルとは別の概念で、昨今注目されています。このエコビレッジ(写真参照)には、住宅、ワーキングスペース、ゲストハウスなどを設け、それぞれの屋根にはソーラーパネルを設置し、



UN17 Village  
by NREP

雨水はコインランドリーで利用します。屋上には地域の生物多様性を守る為に庭園が設けられます。早ければ2023年中に完成される予定とのことです。



#### 食品ロス削減アプリ

食品ロスをいかに減らすかは、身近な話題として取り上げられることが多い課題で、SDGsの17のゴールの中のゴール2(飢餓をゼロに)とゴール12(つくる責任、つかう責任)の達成に大きく貢献していると言われています。デンマークの食品ロスの取り組みに関しては、以前ご紹介した食品ロススーパーのほか、【Too Good To Go】という食品シェアアプリが草分け的存在として注目されています。2016年に立ち上げられたこのアプリは短期間に12か国以上に導入されています。ピュウフェ形式のレストランで食事をし、廃棄される食品に疑問を抱いた若者たちの発案で生まれたアプリです。廃棄するには早いと思われる食品がそれを良しとしない消費者に、このアプリを通じて販売されるシステムで、多くの支持が得られています。日本でも【Too Good To Go】を参考にしたアプリが開発され利用されはじめていますが、デンマークの



デンニッシュ・クラウン社との  
コラボレーションステッカー

食肉企業Danish Crownでもこのアプリとコラボレーションし、食品の廃棄削減に取り組んでいます。表示されている「賞味期限」が過ぎた製品でも「見て、嗅いで、味わって」、まだ食べられるかどうかを感覚を使って評価することを推奨する【Too Good To Go】のステッカー(写真左)が貼られた製品も増えています。SDGs17のゴール目標にはそれぞれ関連性があります。私たちが日々の生活で何かひとつでも意識的に取り入れることによりSDGsの進捗に少しでも貢献してゆくと云うことが大切なのかもしれません。(T.S)

### デンニッシュ・クラウン サステナビリティセミナー開催



4月19日(水)帝国ホテルにてDanish Crown主催のサステナビリティセミナー&フリーディスカッションが開催され、約120名の方が参加されました。当日はデンマークの養豚産業並びにデンニッシュ・クラウン社のCO2削減への取り組み、そして日本向けにのみ実施してきた去勢を段階的に廃止することなど動物福祉のさらなる向上を目指した戦略が説明されました。セミナーの資料はデンマーク農業理事会のHPからご覧いただけます。

#### セミナーでの講演

##### 持続可能な豚肉生産に関するデンニッシュ・クラウン社の取り組み・・

デンニッシュ・クラウン インターナショナルセールス本部長 マッツ・ストーガード氏

##### 気候変動への影響を軽減するためのデンマーク養豚事業の新たな取り組み・・

デンマーク農業理事会 理事 クリスチャン・フィンク・ハンセン氏

##### 気候変動への影響を軽減するためのデンニッシュ・クラウン社の動物福祉とバイオダイバーシティの取り組み・・

デンニッシュ・クラウン サステナビリティ本部長 モーデン・ビーダーセン氏



1985年の年が明けた頃のことだったと思います。学卒後郷里の北海道で医療機器関係の商社で働いていた私に一本の電話が入りました。高校時代に知遇を得ていた先輩からのもので、上京してその方が仕事をしているデンマークの農業関連事業への参加(転職)を促すお話だったのです。私は二つ返事でお答えをし、春には身の回りのものだけを抱えて東京の先輩のお住まいに転がりこみました。英語といってもままならぬ身でしたのでデンマーク農業理事会での面接は先輩から示されたシナリオと想定問答集の英語をすべて丸暗記するように指示され面談者(デンマーク人をふくむ)からの問いにはたとえ趣旨と若干そぐわなくとも暗記



日比谷パークビルデンング  
(元 日活国際ホテル)



ペニンシュラホテル東京

英語をそのまま話すよう言われたものでした。そんな経緯で唐突にデンマークと関わるようになった私ですが、途中紆余曲折もあり数年間デンマークの事業から離れたこともありましたが、あれからもう通算で40年に近い年月が流れました。あの一本の電話が無かったら私の人生は全く違ったものになっていたわけですから人の出会いや縁や人生は本当に不思議なものだと思います。

1967年日本事務所が特殊法人として設立登記されたときデンマーク農業理事会は現在の所在地に隣接する日比谷パークビル(写真)に入居していました。デンマーク大使館もこのビルに入居しており、理事会は大使館の一部を間借りする形でスタートしたそうです。(大使館はその後現在の代官山に移転)。今から55年前デンマークと日本の間の農産物貿易など極く限られたものであったはずですが、そんな時代に日本に事業所を開設しよう



有楽町電気ビルデンング

とした当時のデンマークの人達の意図や熱意を思うと、遠い日本を見る視線の中にアジアで輝かしく成長する日本に対する大きな期待があったのだろうと想像します。私が入職した当時のビル内は元々日活国際ホテルとして建設された建物当初の区分け構造のままになっていて、入居テナントはそれぞれいくつかの客室をそのまま利用してテナント各社ごとに区割りし各社のオフィスとして入居していました。私のデスクも日本の会社には見られない個室(職員2名部屋)形体で私にはとても新鮮な思いがしたものです。あの日比谷パークビルも2003年に取り壊され現在はペニンシュラホテル(写真)になっています。デンマーク農業理事会日本事務所はこの建て替えの際に隣接する有楽町電気ビル(写真)へと移転して今日に至っています。入居する建物こそ変わりましたが、デンマーク農業の日本における小さな窓口は有楽町の現在と同じ場所で55年以上もの長きにわたって運営されています。(本稿は次号その2に続きます)

### 新職員入職のお知らせ デンマーク農業理事会日本事務所

デンマーク農業理事会日本事務所では本年6月1日付で渡邊博道氏(38歳)が新入職することとなりました。代表補佐業務の他市場対策事業全般に携わって参ります。皆様には今後様々な場面でお世話になると存じます。何卒ご厚誼をいただきご指導ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

### ポークアカデミー開校

デンマークで長年培われてきた技術と理論を学ぶポークアカデミーが、ロスキレ市内のデンマーク食肉技術学校にて5月13日(土)~27日(土)の日程で開校されます。4年ぶりの実施となった今年は18社20名の方が参加します。4月21日に参加研修生向けのオリエンテーションが行われ、アカデミー催行の委細の説明が行われました。団長には伊藤ハム米久フーズ(株)の出口次郎氏、副団長は(株)なとりの米田敬一氏・(株)力の源カンパニーの守田亜希氏が指名されました。短期間の研修となりますが、事務局では有意義な学びと貴重な海外滞在の経験となることを願っております。

### デンマークチーズ協会 2023年度総会

4月7日(金)新有楽町ビルにて会員各社出席の下で2023年度総会が行われました。2022年度活動報告と会計報告が行われた後、2023年度の活動計画が審議され秋期海外市場視察活動、チーズフェスタ支援事業、年度情報交換の集い(12月)などの行事が承認され実施されることが決定されました。3年にわたったコロナ禍の終息に沿って、デンマークチーズ協会の活動もようやく平常化してゆくこととなりました。

### デンマークの食と暮らし研究会 法人会員担当窓口の皆様へ

平素より法人会員としてNPO法人デンマークの食と暮らし研究所に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。法人会員の皆様には引き続きご支援をいただきたく「法人会員年会費(更新)のお知らせ」をご案内させていただきます。今後も変わらぬご支援のほどよろしくお願い致します。

**編集後記** 若葉が美しい季節となりました。長かったコロナの時もようやく終わりなのでしょう。セミナーやポークアカデミーなどの活動も始まっています。Sustainabilityや少子高齢化などを今年のテーマとしてひきつづきのニュースレターをお届けして参ります。(編集部)